

# 高まるデモクラシーの意識

## 学習1 護憲運動と政党内閣の成立

- 明治天皇が亡くなり大正天皇が即位した1912年(大正元年)、陸軍や藩閥に支持された桂太郎内閣が成立しました。
- 立憲政友会の尾崎行雄や立憲国民党の犬養毅らは藩閥を倒し、憲法の精神に基づく政治を守ろうとする運動を起こしました(第一次護憲運動)。桂内閣は総辞職に追い込まれ、その後は、政党の力が次第に強くなっていきました。
- デモクラシーの風潮が世界的に高まりました。

### note デモクラシーの思想

- ・吉野作造…民本主義を唱え、政党政治の確立を主張する。
- ・美濃部達吉…天皇機関説を唱え、主権は国民にあると説く。

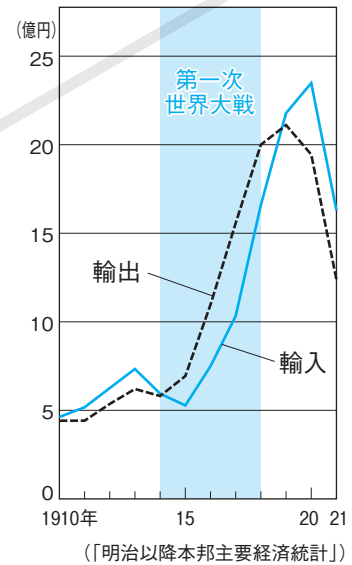
- 第一次世界大戦中、連合国やアメリカへの工業製品の輸出が増え、日本の経済はかつてない好景気となりました(大戦景気)。
- 好景気により成金とよばれる金持ちが増え、三井・三菱などの財閥がさらに力をつけました。一方で、好景気は物価の上昇をまねいたため、民衆の生活は苦しくなっていました。
- シベリア出兵を見越した米の買い占めにより米の値段が急激に上がると、富山県の漁村の主婦が米の安売りを求めて米屋におしかけました。この騒ぎが報道されると、たちまち全国に広がり、民衆は米屋や金貸し、大商店などを襲いました(米騒動)。
- 米騒動で寺内内閣が倒れると、立憲政友会の原敬が首相となり、内閣を組織しました。原内閣は、閣僚の大部分を衆議院の第一党である立憲政友会の党員が占める、初の本格的な政党内閣でした。

## 学習2 社会運動の高まりと男子普通選挙の実現

- 1923年に再び政党を無視した内閣が成立すると、1924年、二度目の護憲運動が起こり、護憲派の加藤高明内閣が誕生しました。
- 1925年、納税額にかかわらず、満25歳以上のすべての男性に衆議院議員の選挙権を与える男子普通選挙が成立しました。これによって有権者数が増加し、政治に国民の声がより反映される道が開かれましたが、女性には選挙権は与えられませんでした。
- 加藤内閣ののち1932年まで、立憲政友会と憲政会(立憲民政党)が交互で政権を担当する政党内閣の時代が続きました。
- 護憲運動や民主主義などの思想の広まり、政党政治や男子普通選挙の実現のなかで、日本の社会に民主主義が浸透していきました。

時代	年	できごと	中国
大正時代	1911	青鞞社が結成	中華民国
	1912	桂太郎内閣が成立する 第1次護憲運動が起こる	
	1916	吉野作造が民本主義をとる	
	1918	米騒動が起こる 原敬の政党内閣が成立する	
	1920	新婦人協会が設立	
	1922	全国水平社が結成 日本農民組合が結成 日本共産党が結成	
	1923	関東大震災が起こる	
	1924	第2次護憲運動が起こる 加藤高明内閣が成立する	
	1925	ラジオ放送が始まる 治安維持法が制定される 普通選挙法が制定される	

### ▼大正時代の貿易



### ▼米騒動

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

この時代の風潮は、のちに**大正デモクラシー**とよばれました。

- 1925年には、**治安維持法**が制定されました。この法律は、ロシア革命の影響で知識人などの間にも広がった社会主義の活動を取り締まることを目的としたものでしたが、その後、改定によって**刑罰**が強化され、社会運動全般の取り締まりに利用されました。
- 労働運動、農民運動、女性運動、部落解放運動などの社会運動が活発となりました。
- 女性差別を解消し、その地位を高めようとする運動がさかんになり、**平塚らいてう**らが**青鞥社**を結成して、女性の解放を唱えました。
- 労働者は**労働組合**を作り、賃上げや労働時間の短縮などを求めて**労働争議**を起こしました。1920年には日本で最初のメーデーが行われました。農村では、**小作人が地主に小作料の引き下げ**などを求めて**小作争議**を起こしました。のちに農民や小作人の権利を守る、日本農民組合もできました。
- 社会運動が高まり、ひそかに**日本共産党**が結成されました。
- 「解放令」が出されたあとも、部落差別はなくなりませんでした。差別に苦しんでいた人々は、1922年に**全国水平社**を結成し、自由と平等を求める運動を進めました。

### 学習3 文化・宗教・生活

- 大正時代には、工場労働者や役所・会社で働く給与生活者(サラリーマン)が増え、都市の人口が急増しました。タイピストやバスの車掌として働く「職業婦人」とよばれる女性も増えました。
- 一般の人々は**大衆**とよばれるようになりました。そして大衆に向けて新たな文化(**大衆文化**)が作りだされました。
- 新聞の発行部数も急速に増え、文庫本や1冊1円の文学全集(円本)が出版されました。**ラジオ放送**が始まるなど、各種メディアが発達するなか、映画や歌謡曲、野球などのスポーツが大衆の娯楽として定着していきました。
- 文学では、**谷崎潤一郎**や**芥川龍之介**、**白樺派**の志賀直哉らの作品が人々に読まれました。また、労働者や農民の視点で社会問題を描く、**小林多喜二**らのプロレタリア文学も生まれ、**柳田国男**は、各地に残る伝承などを記録し、民俗学を提唱しました。
- 1923年9月1日、大地震が関東地方を襲いました。東京・横浜などの人口密集地は壊滅状態となり、死者・行方不明者は10万人以上に達しました(**関東大震災**)。震災後は、地震に強い鉄筋コンクリート造りの建物が増えていきました。

#### ▼原敬

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

#### ▼有権者数の移り変わり

選挙法 成立年	有権者数(万人)			
	1000	2000	3000	4000
1889年	1.1%			
1900年	2.2%			
1919年	5.5%			
1925年		19.8%		
1945年				48.7%

(%で示した数値は全人口に占める割合)

#### ▼全国水平社の宣言(一部要約・抜粋)

全国に散在する部落の人々よ、団結せよ。ここにわれわれが人間を尊敬することによって、みずからを解放しようとする運動を起こしたのは当然である。われわれは、心から人生の熱と光を求めるものである。水平社はこうして生まれた。人の世に熱あれ、人間に光あれ。

#### ▼『青鞥』の宣言(一部抜粋)

元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。…

#### ▼治安維持法(一部要約)

第一条 国体を変革し、または私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し、または情を知ってこれに加入した者は、10年以下の懲役または禁錮に処する。

第二条 前条の目的をもって、その実行に関し協議をした者は、7年以下の懲役または禁錮に処する。

#### ▼関東大震災

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

## 確認問題

●一問一答● 次の問いに答えなさい。

学習1

- (1) 藩閥の桂太郎内閣が議会を無視する態度をとったのに対し、政党政政治家や新聞記者などの知識人が桂内閣を退陣させた運動を何というか。(1)
- (2) 吉野作造が唱えた、普通選挙によって民意を政治に反映させる考えを何というか。(2)
- (3) 天皇は国家の最高機関であり、憲法に従って統治を行うものとするという学説を説いたのはだれか。 天皇機関説という。(3)
- (4) 第一次世界大戦によって、日本の造船業・鉄鋼業などで、にわかに巨額の利益を得た人々は、何とよばれていたか。 大戦景気がおこった。(4)
- (5) シベリア出兵による米価の急上昇をきっかけに、富山県の漁村の主婦たちから始まり、各地に広がった全国的な騒動を何というか。(5)
- (6) (5)の後、首相になり、内閣を組織した人物はだれか。  
閣僚の大部分を衆議院の第一党である立憲政友会の党員が占めた。(6)
- (7) 議会で多数を占める政党の党員によって組織される内閣を何というか。(7)

学習2

- (8) 第二次護憲運動後の1924年、護憲派の連立内閣がつくられたが、このときの内閣総理大臣はだれか。(8)
- (9) 1925年に成立した、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与えた制度を何というか。 女性には選挙権はなかった。(9)
- (10) 大正時代におこった民主主義を求める風潮や運動を何というか。(10)
- (11) (9)と同時に成立し、社会主義運動をとりしめるために制定された法律を何というか。 1928年、最高刑に死刑が導入された。(11)
- (12) 雑誌『青鞥』の編集・発刊において中心となり、女性の解放と自由恋愛を主張した人物はだれか。(12)
- (13) 労働者が団結して、労働条件の改善などを資本家に求めてストライキなどを起こすことを何というか。(13)
- (14) 農村で、小作人が地主に対して、高い小作料の引き下げや耕作権を要求する争議を何というか。(14)
- (15) きびしい部落差別に苦しんだ人々が、人間としての平等を求めて結成した組織を何というか。(15)

学習3

- (16) バスの車掌やタイピスト・電話交換手などの女性たちを何とよんだか。(16)
- (17) 1925年に始まり、またたく間に全国に普及したメディアは何か。  
新聞の発行部数も増え、1冊1円の円本も出版された。(17)
- (18) 第一次世界大戦のころから、都市を中心に大衆の文化が広まったが、当時、活動写真とよばれ、多くの人に好まれた娯楽は何か。(18)
- (19) 『羅生門』、『くもの糸』、『鼻』などの知性的な短編で、人々に親しまれた文学者はだれか。(19)
- (20) 1923年に発生し、東京・横浜などの地域を壊滅状態にした災害を何というか。(20)

# 基本問題

1 右の資料を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料Ⅰの法律を何というか。
- (2) 資料Ⅰと同時に実現された、選挙に関する新しい法律を何というか。
- (3) 資料Ⅰが取り締まった運動を、次のア～エから2つ選びなさい。  
 ア 天皇中心の国のあり方を変える運動。  
 イ 憲政擁護を主張する運動。  
 ウ 軍隊を強化する運動。  
 エ 私有財産制を否定する運動。
- (4) 資料Ⅱ中の( )にあてはまる語句を、次のア～ウから選びなさい。  
 ア 労働者      イ 農民      ウ 部落
- (5) 資料Ⅱを宣言した組織を何というか。
- (6) (5)が目指したことを、次のア～エから選びなさい。  
 ア 部落差別からの解放を求める。  
 イ 女性に対する差別をなくす。  
 ウ 小作料の引き下げを求める。  
 エ 労働者の権利を主張する。

## 資料Ⅰ

第一条 国体を変革し、または私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し、または情を知ってこれに加入した者は、10年以下の懲役または禁錮に処する。

第二条 前条の目的をもって、その実行に関し協議をした者は、7年以下の懲役または禁錮に処する。

## 資料Ⅱ

全国に散在する( )の人々よ、團結せよ。ここにわれわれが人間を尊敬することによって、自らを解放しようとする運動を起こしたのは当然である。われわれは、心から人生の熱と光を求めるものである。

水平社はこうして生まれた。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。

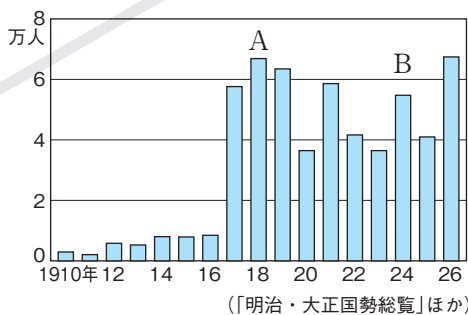
1

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

2 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 労働争議の増加とともに、農村では小作料の減免を要求する運動が活発になった。この運動を何というか。
- (2) グラフ中のAの時期に、あるできごとのために内閣が倒れることになった。あるできごととは何か。
- (3) (2)のあと、本格的な政党内閣を組織した人物はだれか。
- (4) グラフのBのときに起きた運動を何というか。

労働争議に加わった労働者の数

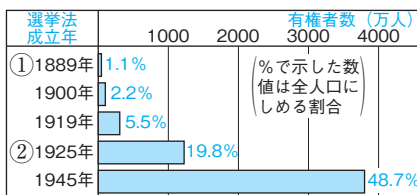


2

(1)
(2)
(3)
(4)

3 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

- (1) グラフの①、②のときの有権者の資格を、次のア～ウから選びなさい。  
 ア 満20歳以上の男子  
 イ 満25歳以上の男子  
 ウ 直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子
- (2) グラフの②のときの内閣総理大臣はだれか。



3

(1)	①
	②
(2)	



## 練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1912年、<sup>a</sup>桂内閣ができる<sup>b</sup>と<sup>c</sup>憲法に基づく議会中心の政治を求める運動が起こった。このころ、民衆の意見を反映した政治を求める運動が<sup>c</sup>吉野作造らによって広められ、議会を中心とした政治の確立を求める世論が高まってきた。

- (1) **表現力** 下線部<sup>a</sup>はどのような人々に支持された内閣であったか。簡潔に書きなさい。
- (2) 下線部<sup>b</sup>について、次の問いに答えなさい。
- ① 下線部<sup>b</sup>の運動を何というか。
- ② ①の中心人物としてあてはまるものを、次のア～エから2つ選びなさい。
- ア 犬養毅      イ 加藤高明      ウ 内村鑑三      エ 尾崎行雄
- (3) 下線部<sup>c</sup>が唱えた主張を何というか。
- (4) 「天皇は国家の最高機関として、憲法によって国を統治すべきである」という学説を主張した法学者はだれか。

1

(1)		
	①	運動
(2)	②	
(3)		主義
(4)		

2 右の絵を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 1918年に、漁村の主婦らにより起こった運動が全国的に広がり、右の絵のような騒動が各地で起こった。これを何というか。

- (2) (1)が最初に起こった県としてあてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

ア 鹿児島県      イ 神奈川県  
ウ 愛知県      エ 富山県

- (3) (1)が起こった原因として、次の㉘・

㉙の文中の①・②にあてはまる語句を書きなさい。

- ㉘ 1914年に起きた( ① )により、工業製品の輸出が増え、好景気となったため、物価が上がった。
- ㉙ ロシア革命が起こり、( ② )出兵を見こした商人が米を買い占めたため、米の価格が前年の2倍にまで上がった。
- (4) (1)の責任を負って総辞職した内閣の首相としてあてはまるものを、次のア～エから選びなさい。
- ア 田中正造      イ 寺内正毅      ウ 黒田清隆      エ 山県有朋
- (5) (4)の内閣のあと、首相となった人物はだれか。
- (6) (5)の所属していた政党にあてはまるものを、次のア～エから選びなさい。
- ア 自由党      イ 立憲改進黨      ウ 憲政党      エ 立憲政友会
- (7) (5)の内閣は本格的な政党内閣であった。政党内閣とはどういう首相が中心の内閣か。あてはまるものを、次のア～エから選びなさい。
- ア 貴族院の多数派から選ばれた首相  
イ 衆議院の多数派から選ばれた首相  
ウ 枢密院により選ばれた軍人出身の首相  
エ 天皇により選ばれた爵位を持った首相

2

(1)		
(2)		
(3)	①	
	②	出兵
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

③ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

第一次世界大戦が終わると、日本の景気は悪くなり、失業や賃金の切り下げに苦しめられた<sup>①</sup>労働者はストライキなどを起こした。農村でも小作争議が起これり、<sup>②</sup>農民らは団結して小作人の地位向上を目指した。また、普通選挙の実現を求める運動もさかんになり、<sup>③</sup>1925年、選挙法が改正された。同じ年に、<sup>④</sup>治安維持法も制定された。

- (1) 下線部<sup>①</sup>で、賃上げや労働時間の短縮など労働者が労働条件の向上などを求める社会運動を何というか。漢字4字で書きなさい。
- (2) 1922年、社会運動の高まりの中で、天皇制の廃止や8時間労働制などを主張して、ひそかに結成された政党を何というか。
- (3) 下線部<sup>②</sup>で、小作人の地位の向上を目指して、1922年につくられた全国組織を何というか。
- (4) 右の資料について、次の問いに答えなさい。
 

げんし  
元始、女性は実に( )であった。  
真正の人であった。今、女性は月である。  
他によって生き、他の光によってかがやく、病人のようなあお白い顔の月である。

  - ① 右の資料の宣言は、何という雑誌の発刊に際して書かれたものか。
  - ② ①の雑誌の編集・発刊を中心になって進めた人物を、次のア～ウから選びなさい。  
ア 樋口一葉      イ 谷崎潤一郎      ウ 平塚らいてう
  - ③ 資料中の( )にあてはまる語句を次のア～エから選びなさい。  
ア 火      イ 星      ウ 太陽      エ 水
- (5) **表現力** 下線部<sup>③</sup>の法律で、選挙権はどのような人々に与えられることになったか。年齢や性別の点から簡潔に書きなさい。
- (6) **表現力** 下線部<sup>④</sup>はどのような法律か。「私有財産」、「社会主義」という語句を使って簡潔に書きなさい。
- (7) この時代の民主主義を求める風潮を何というか。

(1)		
(2)		
(3)		
(4)	①	
	②	
	③	
(5)		
(6)		
(7)		

④ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

大正時代に入ると、人口が都市に集中し、<sup>①</sup>新しい職業へ女性も社会進出してきた。さらに新聞・雑誌が大量に発行され、都市を中心に<sup>②</sup>文化の大衆化が進んだ。このころ、文学の分野でも、新しい作品が生まれた。

- (1) 下線部<sup>①</sup>にあてはまる職業を、次のア～エから選びなさい。  
ア 衆議院議員      イ 婦人警官      ウ バスの運転手      エ タイピスト
- (2) 下線部<sup>②</sup>で、このころの文化にあてはまらないものを、次のア～オから選びなさい。  
ア 学生の野球大会が始まり、甲子園球場で開催されるようになった。  
イ 大都市では公共の建物が鉄筋コンクリートになり、郊外に文化住宅が建設された。  
ウ 鉄道が敷設され、人力車や馬車が走るようになった。  
エ デパートや映画館ができて、新しい娯楽として発展していった。  
オ パンが広まり、カレーライスやコロッケなどの洋食も好まれるようになった。
- (3) 下線部<sup>②</sup>で、次の①・②にあてはまる人物を、下のア～エから選びなさい。
  - ① 農村を訪ねて各地に残る伝承を記録し、民俗学を提唱した。
  - ② 知的な手法で社会をえがき、『蜘蛛の糸』などの作品を残した。  
ア 柳田国男      イ 芥川龍之介      ウ 小林多喜二      エ 夏目漱石

(1)		
(2)		
(3)	①	
	②	